

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 7 部門第 4 区分

【発行日】 令和 7 年 4 月 30 日 (2025.4.30)

【国際公開番号】 WO2024/122406

【出願番号】 特願 2024-562706 (P2024-562706)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/14 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 K 1/14

Z

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 7 年 2 月 21 日 (2025.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20

回転電気機械に用いられる磁性体コアであって、
コアバック部と、

前記コアバック部から第 1 方向に延びたティース本体部と、前記第 1 方向についての前記ティース本体部の先端に設けられたティース先端部と、を含むティース部と、
を備えており、

前記回転電気機械に前記磁性体コアが組み込まれたときに当該回転電気機械の回転軸に沿った方向となる第 2 方向について、前記ティース部の幾何中心の位置は、前記コアバック部の幾何中心の位置と異なる、
磁性体コア。

【請求項 2】

30

前記ティース本体部の幾何中心の前記第 2 方向の位置は、前記コアバック部の幾何中心の前記第 2 方向の位置と異なる、
請求項 1 に記載の磁性体コア。

【請求項 3】

前記ティース先端部の幾何中心の前記第 2 方向の位置は、前記コアバック部の幾何中心の前記第 2 方向の位置と異なる、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 4】

前記ティース本体部は、前記第 2 方向についての両端である第 1 端及び第 2 端を有し、
前記第 1 端と前記コアバック部の幾何中心との間の前記第 2 方向の距離は、前記第 2 端と前記コアバック部の幾何中心との間の前記第 2 方向の距離よりも小さい、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

40

【請求項 5】

前記ティース先端部は、前記第 2 方向についての両端である第 3 端及び第 4 端を有し、
前記第 3 端と前記コアバック部の幾何中心との間の前記第 2 方向の距離は、前記第 4 端と前記コアバック部の幾何中心との間の前記第 2 方向の距離よりも小さい、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 6】

前記第 1 方向の前記第 2 方向に直交する平面への正射影を第 3 方向と定義し、

前記ティース本体部の前記第 3 方向に垂直な断面の幾何中心を結ぶ線を第 1 線と定義し

50

、
前記第 1 線は、直線であり、
前記ティース本体部の前記先端での前記第 1 線の位置と、当該先端とは反対側の前記ティース本体部の端での前記第 1 線の位置とは、前記第 2 方向において等しい、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 7】

前記第 1 方向の前記第 2 方向に直交する平面への正射影を第 3 方向と定義し、
前記ティース本体部の前記第 3 方向に垂直な断面の幾何中心を結ぶ線を第 1 線と定義し

、
前記第 1 線は、直線であり、
前記ティース本体部の前記先端での前記第 1 線の位置と、当該先端とは反対側の前記ティース本体部の端での前記第 1 線の位置とは、前記第 2 方向においてずれている、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 8】

前記第 1 方向の前記第 2 方向に直交する平面への正射影を第 3 方向と定義し、
前記ティース本体部の前記第 3 方向に垂直な断面の幾何中心を結ぶ線を第 1 線と定義し

、
前記第 1 線は、折れ線であり、
前記ティース本体部の前記先端での前記第 1 線の位置と、当該先端とは反対側の前記ティース本体部の端での前記第 1 線の位置とは、前記第 2 方向においてずれている、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 9】

前記第 1 方向の前記第 2 方向に直交する平面への正射影を第 3 方向と定義し、
前記コアバック部は、前記第 2 方向に直交する平面に対して面对称な形状を有しており

、
前記ティース本体部は、前記第 2 方向に直交する平面に対して面对称な形状を有しており、
前記ティース先端部は、前記第 2 方向に直交する平面に対して面对称な形状を有している、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 10】

前記第 1 方向の前記第 2 方向に直交する平面への正射影を第 3 方向と定義し、
前記ティース本体部の前記第 2 方向の長さは、前記第 3 方向において、均一である、
請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 11】

前記コアバック部及び前記ティース部のそれぞれは、軟磁性粉から形成された成形体である、

請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コア。

【請求項 12】

前記軟磁性粉の材料は、鉄及び樹脂を含む、
請求項 11 に記載の磁性体コア。

【請求項 13】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コアを備える、
回転電気機械。

【請求項 14】

請求項 1 又は請求項 2 に記載の磁性体コアを備える、
ブラシレスモータ。

10

20

30

40

50